

2014年第3回議会開会中

9 / 9

(火)

午後3時頃

(時間は変更される場合があります)



一般質問

あらき由美子 議員
(南区)

主な質問内容 (予定)

○中期4か年計画素案に対する考え方について

- ・計画案発表の記者会見で林市長が「将来の横浜のために大胆な投資をする必要がある」と発言した理由は何か。
- ・大企業に多額の税金を投入するより市民税を収めてくれる市民にこそ投資すべきではないか。
- ・インフラ整備で結果的に恩恵を受けるのは大企業で、市民のくらしがよくなるとは言えないと思うがどうか。
- ・小児医療費無料化の年齢引き上げと所得制限の撤廃を望む声が多く、市長の判断でできるはずだが、いつ決断するのか。
- ・市民意識調査で要望トップは災害対策だが、崖地の防災対策費15億円、地震火災対策費74億円は新市庁舎建設費270億円や高速横浜環状道路1037億円と比較してあまりにも貧弱ではないか。
- ・広島での土砂災害を教訓に、急傾斜地等の調査を県に強く求めるとともに市独自でも対策を講じるべきではないか。
- ・土砂災害防止法による警戒区域の調査を進めるために職員体制を強化し、目標数値を引き上げるべきではないか。

議会のお知らせ

(議員名は日本共産党横浜市議団の発言予定者)

9月18日(木)午後2時

本会議：議案議決(討論：古谷やすひこ議員)

9月26日(金)～10月14日(火) 決算特別委員会

(26日の総合審査：岩崎ひろし議員)

10月21日(火)午前10時

本会議：決算議決(討論：大貫憲夫議員)

みなさまの傍聴をお待ちしております！
インターネット中継もどうぞ！

うれしい反響！

3日に行われた白井まさ子議員の議案関連質問終了後、インターネット中継で質問を見たという港北区の方から党市議団にファックスが入りました。

新市庁舎建設で東日本大震災の復興が遅れるとして「横浜さえ良ければ被災地はどうなってもよいのか」と市長に迫った質問を「圧巻、すごい」。市長は重要なことはほとんど答えておらず、「被災地よりも新市庁舎の問題は喫緊の課題」との答えに「とんでもない」と批判していました。